翻訳演習

2-3 高血圧と冠動脈性心疾患

訳例

〈No. 1〉

著者：Millar JA, Isles CG, Lever AF.

タイトル：MRC Mild Hypertension 試験のプラセボ投与群患者における血圧、白衣高血圧および心血管リスク

要旨

目的と患者：Medical Research Council （MRC）Mild Hypertension 試験において、プラセボ投与群に無作為に割り付けられた患者8,654例の血圧と心血管リスクとの相関を検討した。5 年間の追跡期間中に 339 例が心血管疾患を発症した。

結果：血圧のトラッキングと血圧の平均値への回帰および平均値からの回帰が示された。心血管リスクは、血圧、喫煙、コレステロール値とそれぞれ独立した正の相関を示し、低値から正常値の血漿ナトリウム値とは負の相関が認められた。血圧との相関は、試験登録時に看護師によって測定が行われた場合は強く、医師によって行われた場合は弱かった。

考察：このような結果が得られた理由の一つは、試験登録時に血圧が上昇し、男性に比べてリスクが低い女性のほうがこの上昇が大きかったため、血圧分布の上位を低リスク群が占めたことである。また、血圧上昇そのものが心血管リスクにほとんどまたはまったく影響を及ぼさなかったということも挙げられる。患者個々の血圧上昇と登録後の下降とは相関していたため、この上昇は白衣高血圧である可能性がある。

結論：この血圧上昇が白衣高血圧によるものであり、本研究が示すように、一般的で比較的リスクのないものであるなら、プラセボ対照試験の計画と高血圧の管理法を変更する必要があると思われる。

（英文 *1* ～ *24* 行目）

解答欄